



# 三木町

No.127  
2009.April

# 議会だより

<http://www.town.miki.lg.jp/>



みんなで楽しい遠足だ

## 3月定例議会

- 全議案を可決 ..... 2  
予算総額は156億1240万円に  
(水道事業会計を除く)
- 議案を審議 ..... 3  
定住自立圏構想が本格化  
介護保険料基準額4800円に改定
- 特集 ..... 4~7  
21年度当初予算 集中審議
- 一般質問 ..... 8~12  
5人が登壇・町長に見解を求める
- 決算特別委員会指摘事項6項目 ... 13  
町長は、こう答えた!
- 委員会レポート ..... 14・15  
総務・建設経済常任委員会  
下水道推進・行財政改革推進・環境保全対策特別委員会

- 人事 ■ 請願・陳情のゆくえ ..... 16
- 元気なグループ紹介 ..... 18  
ふるさとウォーク会
- 編集を終えて ..... 18



町木:クロガネモチ

# 3月 定例議会



▲本会議採決の様様

一般・特別会計（水道事業会計を除く）

# 総額は、 156億1240万円に

## 21年度当初予算案など全議案を可決

平成21年第1回定例議会は、3月10日から26日までの17日間の会期で開会された。

初日は、石原町長の平成21年度施政方針演説と、決算特別委員会の指摘事項に対する状況報告に続き、平成20年度一般会計および特別会計の補正予算案、ならびに平成21年度一般会計当初予算案、また、定住自立圏形成協定の議決に関する案など27議案が上程された。

一般質問では、5人が登壇し、現在厳しい社会情勢の下、雇用、融資制度の有効活用、旧神山幼稚園・小・中学校の利用、また、下水道事業の整備、財政の状況についてなど、町長の見解を求めた。

また、当初予算の質疑では、延べ15人が質問に立ち、活発な論議が行われた。

平成21年度当初予算

■一般会計総額

# 79億1,000万円

## 歳入

主な歳入	予算額	前年対比
町税	26億2,152万円	2.5%減
基金からの繰入金	6億8,646万円	17.1%減
地方交付税	17億5,000万円	2.9%増
国・県支出金	12億2,883万円	2.0%増
町債（借金）	6億9,510万円	26.0%増

## 歳出

主な歳出	予算額	前年対比
県営農林工事負担金事業（東讃南部農道）	3,552万円	40.2%減
農山漁村活性化プロジェクト支援事業（森のいちご）	1,375万円	37.5%減
町道新設改良事業	3億6,878万円	92.3%増
小学校校舎等耐震補強事業（平井・田中・氷上）	1億968万円	15.8%減
中学校校舎等耐震補強事業	7,745万円	21.9%増

## 特別会計等の当初予算

国民健康保険事業特別会計	29億8,110万円
老人保健特別会計	770万円
簡易水道事業特別会計	1,530万円
農業集落排水事業特別会計	10億650万円
介護保険事業特別会計	22億870万円
公共下水道事業特別会計	11億5,580万円
介護予防サービス事業特別会計	1,470万円
後期高齢者医療事業特別会計	3億1,260万円
水道事業会計	
収益的収入	4億9,764万円
収益的支出	4億9,183万円
資本的収入	1億7,505万円
資本的支出	2億5,872万円

## 議会の動き

26	24	19	17	16	13	12	11	10	3	27	25	18	17	16	12	9	29	29	27	23	14	9	12	
本会議（当初予算の質疑）	本会議（当初予算の内容説明）	本会議（当初予算の内容説明）	本会議（当初予算の内容説明）	本会議（当初予算の内容説明）	本会議（補正予算の内容説明）	建設経済常任委員会	教育民生常任委員会	議会議務常任委員会	議会議務常任委員会	建設経済常任委員会	建設経済常任委員会	建設経済常任委員会	建設経済常任委員会	建設経済常任委員会	建設経済常任委員会	建設経済常任委員会	建設経済常任委員会	建設経済常任委員会	建設経済常任委員会	建設経済常任委員会	建設経済常任委員会	建設経済常任委員会	建設経済常任委員会	建設経済常任委員会

# 議案を審議

## 職員の勤務時間が15分短縮

人事院勧告により、民間の平均労働時間が、1日当たり7時間44分など、官民の均衡を図るため、昼の休憩時間を1時間に延長し、1日の勤務時間を7時間45分にするものである。

なお、短縮することにより、行政サービスの低下につながるような、より一層のサービスを実施するよう申し入れた。

## 出張旅費を減額

職員の提案制度に基づき、職員の旅費に関する条例を一部改正する運びとなった。

## 健康福祉課長

第2期見直しの時期に基金を活用し、引き上げを抑えてきた。しかし、基金の残額が200万円余と減少したために、引き上げをお願いしている。

## 定住自立圏構想が本格化

本町を含む1市5町の連携からなる「瀬戸・高松広域定住自立圏」が、今定例議会での議決により、本格的に始動する。

## 介護保険料基準額を4800円に改定

介護保険料の見直し時期に当たり、保険料の引き上げが提案されている。準備基金の活用などで、引き上げを見直せないか。

## 産業振興課長

今までは、ほ場整備の関係上、推進協議会にお願いしていた。だが、事業完了に

## 「定住自立圏構想」とは

少子高齢化、大都市圏への人口流出、地方分権の推進など、地方の現状を鑑み、中心市と周辺市町村との機能を連携させ、魅力にあふれ、かつ自立可能な地方圏の構築を目的に、国が全国展開している構想。三木町は、高松市、土庄町、小豆島町、直島町、綾川町の1市5町で構成され、昨年10月に認定を受けた「瀬戸・高松広域定住自立圏」に参画している。

## 女井間池北側に、三木北部多目的広場を設置

今後の維持管理は。

伴い、協議会が廃止となる。

## 産業振興課長

今後、地元の自治会や老人会などの、地元の団体をお願いしたい。

水道、トイレなど

の設置も考えては。

## 産業振興課長

地元の方々からの要望次第だが、今のところない。今後あれば、財政面も考えて、検討課題としたい。



▲新しくできました(大字井上)

## 町営住宅数3戸減少

池戸団地(桜町)で1戸を取り壊し、ま

た、新開団地で8戸を取り壊し、6戸を新築した。

## 池戸団地で取り壊し後、更地になっている。

払い下げ申請などの話はないか。

## 土木建設課長

今のところは、そのような話はない。

## その更地に新築の予定は。

現在では考えていない。

## 土木建設課長

現在では考えていない。

## 町営住宅全体での入居希望者の状況は。

## 土木建設課長

昨年募集したのが平木団地のみで、10数名の応募があった。他の団地は、既に耐用年数を過ぎていて、募集していない。

# 議 審 中 集

## 予算編成方針

平成21年度の当初予算編成に当たっては、地方自治体を取り巻く財政環境がますます厳しさを増す中、限られた財源で、平成18年3月に策定した「行政財政集中改革プラン」に基づいた行政財政改革が、より実効性のあるものになるように編成した。

## 一般会計

**問** 香西（義）議員

今後の財政予測を明確に示し説明せよ。

**答** 総務課長

町税の見込みは22年度に、景気後退の影響により一旦減少するものの、24年度は若干増加するものと予測している。

地方交付税は、本町の中期財政計画では平成24年度に17億円を見込んでいます。

今後、より一層、税収等の財源の確保に努めていかなければならない。

**問** 松原議員

景気悪化で、税収入の落ち込みが予想されるが、どの程度で景気が回復すると見込んでいるか。

**答** 税務課長

平成20年度の収入に対して課税していくため、町民税は前年比98%を見込んでいる。また、固定資産税は3年ごとの見直し時期であり、94%とし、課税標準額は実勢ほど下がらないと見ている。

**答** 総務課長

景気見通しは、3年後には回復を見込んでいる。

**問** 松原議員

自主財源確保のための積極的な確保策としての、広告料収入について伺う。

**答** 政策情報課長

次年度は、60万円を見込んでいる。今年度は34万円の収入見込みであり、広報みき・コミユニティバス・町ホームページ・事務連絡用封筒などへの広告掲載を行ってきた。企業訪問

など積極的に取り組んでいく。



▲ただいま広告募集中

**問** 松原議員

町債発行についての説明ならびに、道路整備等の工事予定を伺う。

**答** 総務課長

国営総合農地防災事業18箇所は完了し、町負担1億円を農業債とした。また、土木債として、地方道整備事業町道3路線新設改良を予算化している。

道路特定財源の一般財源化については、詳細不明であり、とりあ

えず国庫補助金としていく。

**問** 原田議員

個人、法人町民税の推移をどのように予測しているのか。

**答** 税務課長

景気の後退等により、減収になるとは思うが、額的には大幅な減収はないと考える。

**問** 原田議員  
富田議員

地価の下落における固定資産税の推移は。

**答** 税務課長

課税標準額が、評価額に比べて依然低い水準にあれば、地価が下がった土地でも税負担は、なだらかに上昇する。

# 21年度当初予算 予算

**問** 原田議員  
55周年記念事業の概要、及び事業総額は。

**答** 政策情報課長  
三木町誕生55周年、また、七飯町と姉妹都市提携を結んで10年目を記念して、9月19日に文化交流プラザで記念式典を開催する。事業総額は、244万5000円を予算計上している。

**問** 渡辺議員  
バスの新車導入が決定された中、山間部地域への路線延長の要望に対応を検討しているのか。

**答** 政策情報課長  
バスの仕様上、道幅等の問題から、山南地域での運行は、当地域の道路改良を待つというのが現状であり、我々の期待である。

**問** 香西（義）議員  
地域における子育て支援サービスの、今年度予算と内容は。

**答** 住民生活課長  
子育て短期支援事業委託料9万7000円を計上し、具体的施策は、子育て短期支援事業と一時保育などがある。

本年度に12歳までの児童がいる家庭全体を対象にアンケートを実施し、結果を反映させた中で、平成22年度からの行動計画で実施していく。

## 「みきの家」今後の運営は

**問** 渡辺議員

2006年に障害者自立支援法が成立し、小規模授産施設の運営をはじめ、障害者施策が大きく変化している

が、どのような見通しで進めているのか。

**答** 健康福祉課長  
県に確認したところ、新体系事業への移行を進めつつ、平成23年度までは、旧体系での補助を続けていくと考えられるということであった。

なお、移行した場合、利用者からの自己負担が必要となることもあるため、次年度以降については、県補助を受けつつ、移行先については、国の動向などを勘案し、検討していく必要があると考えている。

## 可燃ごみの減量に向けて

**問** 渡辺議員

ごみ減量で経費削減を進めるため、可燃ごみの紙類などの分別により、資源化を図ることが有効と思われる。そのための取り組みを検討してはどうか。

**答** 環境保全課長

紙・布類などリサイクルできるものは、リサイクルするという方針で取り組んでいる。また、本町で実施している生ゴミ処理機等設置補助金も、活用していただくよう努める。

**答** 環境保全課長  
今のところ、変更はしない。



## 浸出水運搬料の軽減を

**問** 西丸議員

津柳地区の最終処分場浸出水の塩素イオン濃度は、数値は下がっているのか。

**答** 環境保全課長

2月5日採取の検査結果によると、処分場内浸出水は、1リットル中1万8200mg、処分場内の地下水では同じく1950mgであった。雨量によるところがあるが、地下水については、一定の成果があったと考えている。



▲利用者のために

# 21年度当初予算 一般会計

# 79億1,000万円

# 0.5%減

## 農地の再生を

**問** 富田議員

耕作放棄地解消に向けての取り組みは。

**答** 産業振興課長

農業委員会では、年1回農地パトロールを行い、個別に解消に向けた指導をしている。

**問** 原田議員

白山景観整備事業の平成21年度予算額と、内容は。

**答** 産業振興課長

西面下段遊歩道から町道正一駒足線までの縦の水路整備であり、借上料や原材料費、合計600万円である。

**問** 西丸議員

東讃南部農道の町負担は何%か。今までにくら負担したのか。いつまでかかるのか。必要性に疑問を感じる。

**答** 土木建設課長

町負担は25%であり、平成14年度から20年度までに、2億1993万円余を負担してきた。あと、2、3年は、かかると思われる。

**答** 町長

多くの方々に期待されている。特に、田中地区の本村辺りでは、早期の完成を待ち望んでいる。

**問** 香西(義)議員

町を縦横断する主要道路の、今年度の取り組みと、今後の見通しは。

**答** 土木建設課長

新年度も現地調査を十分に実施し、優先度の高い箇所から順次、整備に取り組んでいく。

町道3路線のうち、

町道正一駒足線を早期に完成させ、町主要南北幹線道路(仮称砂入荒木線)の早期整備を図りたい。

## 白山小スクールバスの適正運用を

**問** 三木議員

花折地区から三木中学校に通学する1年生を、白山小学校のスクールバスと、中学校のスクールタクシーで送迎することになっている。

バスの利用ができなかった今までの子どもたちと比べて、公平性に問題はないか。

**答** 教育長

特殊な地域事情があり、子どもが安全に通学でき、勉強できる環境づくりの面から、今何をすべきかを考慮すると、現在とり得るベストな方法と考えられる。



▲行ってきます

## 「サンサン館みき」の運営課題

**問** 渡辺議員

県が5つの行政圏域に整備した、健康生がい中核施設だが、県は地元市町に譲渡するところ。

大規模修繕など、今後の運営負担を考えると大きな課題と思われるが、対応は。

**答** 生涯学習課長

「サンサン館みき」の譲与については、平成20年12月19日、県担当課より打診があった。その際、修繕経費などを目的とした基金6000万円を交付することであった。

本町とし

ては、平成22年4月から、本格的に指定管理者制度により、新たに運営をスタートさせる



▲サンサン館みき

予定である。

**問** 松原議員

総合型地域スポーツクラブ「さぬき三木スポーツクラブ」の運営状況を伺う。

**答** 生涯学習課長

平成19年度から21年度まで、毎年40万円の運営補助金を予定している。現在、会員数は470人、年間会費収入は150万円を見込んでいる。開催している教室は14となっている。平成22年度から、自助努力による運営の予定である。

# 特別会計

(水道事業会計を除く)

# 77億240万円

## 国民健康保険

**保険料の引き下げを望む**

**問** 渡辺議員

基金積立金を活用するなど、できれば一人当たり1万円程度、保険料負担の軽減ができないか。

**答** 健康福祉課長

積立金については、高額療養給付など、想定外の出費に備えるためのものであるので、ご理解いただきたい。

## 農業集落排水

**問** 西丸議員

三木東浄化センターの、供用開始が遅れると予想される。建設開始の最終リミットは。ウォーキングセンターは係争中であるが、

新開地区が優先か。

**答** 上下水道課長

事業自体は、平成22年度完了となっている。それから逆算すると、今年中に着工しないと間に合わない。

また、裁判の経緯が不透明であり、どちらが優先とも言えない。並行で進めたい。



▲どうなる、三木東浄化センター用地は

**問** 香西(義)議員

すでに供用開始している井上北部地区の、平成19年度の使用料、維持管理費、借金の元利償還金、一般会計からの繰入金額は。

**答** 上下水道課長

使用料が514万円、維持管理費が786万円、元利償還金が2264万円、繰入金金が2537万円である。

今後、各下水処理場の名称を、次のとおり統一いたします。

■公共下水道事業の処理場を、三木浄化センター(仮称)

■農業集落排水事業三木東の処理場を、三木東浄化センター(仮称)

※尚、いずれも仮称となつていますが、議会だよりについては、仮称は省きます。

## 介護保険

**問** 渡辺議員

介護報酬単価が3%程度引き上げられる。どのような影響が出ると予想しているのか。

**答** 健康福祉課長

介護報酬の改定に伴い、特例交付金が予算化された。町として処遇改善基金を創設し、保険料の上昇を抑えるため活用していく。

**問** 香西(義)議員

特別養護老人ホーム、高齢者施設等への、火災などの定期的な安全管理は。

**答** 健康福祉課長

火災等については、消防署の定期的な指導を受け、備えている。今後も、事故の起きないよう、十分施設とも連絡をとり指導する。

## 公共下水道

**問** 松原議員

用地買収の状況はどうなっているのか、今後の見通しを伺う。

**答** 上下水道課長

また、周辺のほ場整備や、水利組合の処理水放流反対に対する対応は、どうなっているのか。

地元鍋淵地区の開発協議会との協議は進んでいない。話し合いが解決した後、用地買収に移りたい。

周辺整備は、ほ場の嵩上げや、その影響での雨水排水問題など、合わせて考えている。

水利組合等との話し合いでは、今後も誠意ある対応で臨みたい。

**問** 渡辺議員

各家庭での下水道への接続工事に係る、宅内工事費用の補助を検討せよ。

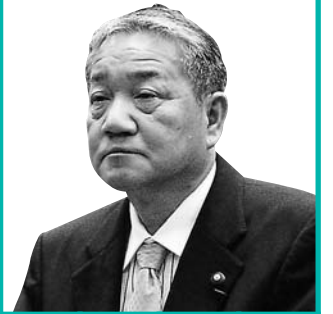
**答** 上下水道課長

内容を精査し、研究を重ねた中で、各関係機関に提案していきたい。

# 問 下水道事業の

## 財政運営の課題は

**答** 最も合理的な浄化施設を選択する



一般質問  
香西 義典 議員

厳しい財政状況下の本町として、長期の建設期間と、多額の投資を必要とする下水道事業の財政運営の課題を、どのように分析しているのかを示せ。

落排水に、いくらの金額が一般会計から繰り入れられているのか。

### 上下水道課長

繰入金総額は、公共下水道に2億3538万円、農業集落排水に7億2178万円である。

財政調整基金（預金）の残高は。

### 総務課長

新年度の予算編成後において、14億300万円程度を見込んでいる。年度間の財源の不均衡を調整するための積立金で、財源の余裕のある年度に積み立ておく必要がある。

下水道事業開始から、平成19年度末までに、公共下水道、農業集



▲現在稼働中の井上北部処理場

### 入札の透明化を図れ

談合を防ぐとともに、競争性や透明性の確保の達成のため、電子入札制度の導入を急ぐべきだ。

### 町長

電子入札は、入札参加者が入札会場に参集することがない。談合等の不正行為の防止に、極めて有効な効果が見込める。

本町としては、ほぼ「電子入札」と同じ談合防止効果が期待できる「郵便入札」を、平成21年度から試行導入する。

### 男女共同参画を推進せよ

現在の事業の進捗状況および、今後の計画、重点施策は。

### 町長

男性優位の社会通念や慣習、男女の役割分担意識、雇用の場における男女の格差など、男女間の不平等が改善されつつあることが、成果として表れてきていると思う。男女の人権の尊重、社会における制度や慣行の見直し、意識改革などに重点を置き、男女平等社会の実現を目指したい。

### 不登校児童・生徒にバックアップを

過去3年間の不登校児童・生徒の人数は。また、不登校となった理由は。

### 教育長

過去3年間での年間30日以上の不登校児童・生徒数は、病欠も含め、小学校、中学校合わせて17年度27人、18年度19人、19年度22人である。要因は多様であり、単純なものではない。

学校での支援体制の内容は。

### 教育長

教育相談（不登校）担当を中心に、校内不登校対策委員会を設けて、学校が一丸となって事例研修や、家庭訪問など、個別に対応している。



# 問 浄化センター建設の

## 住民同意の判断基準は

### 答 県の判断に委ねたい



一般質問  
松原 哲也 議員

ウォーキングセンター予定地では、半径500メートルの周辺同意が必要と言っていたが、新開地区での周辺同意の基準はどうか。

#### 裁判の和解を

町民が原告で、被告が町という構図は、心情的にも経費的にも好ましくないし、税金のむだ遣いではないか。和解の道を選択できないか。

#### 町長

県の指導を受けながら事業を進めている。和解については、双方の理解が必要だ。今は、その状況を静かに見守っていききたい。

#### 選定理由は

農業集落排水事業の処理方式に、ニイミシステムを選定した理由は。

#### 町長

もう一つの処理方法であるジャルス方式に比べ、必要用地面積が広いものの、悪臭や病原菌の飛散等、2次公害を起さない浄化施設であること、また、維持管理費が安価な施設ということから、議会にも諮った中で決定した。

#### 公共下水道の 処理施設の現状は

周辺住民との話し合いは、どこまで進んでいるのか。

#### 町長

鍋淵地区の「下水道処理場周辺開発協議会」の役員の方々と協議をしているところである。

また、四角寺南団地の住民の方々に對しても、鍋淵地区との協議状況を踏まえながら、対応等を検討してまいりたい。

#### 外部委託の管理を

補助金や委託料の予算執行先の活動内容を、透明化や費用対効果の観点から、公開すべきではないか。

#### 町長

委託料等の予算およ

#### 廃校利用を

廃校となつている旧神山幼稚園・小・中学校を、介護ケア施設などへの有効利用はできないか。

#### 町長

地域の拠点施設として活用することが、重要である。

今後は、「奥山を良くする会」をはじめ、地元住民の意見を聞いた中で、検討していく。

#### 上下水道課長

候補地の隣接同意は、8割から9割が最低条件になる。

一方、道路を隔てた周辺同意についての同意の判断は、県の最終判断による。



▲高松地方裁判所